目次

ユーザーインターフェースの利用 1
ユーザーインターフェースの利用：概要 1
スクリーンの概観 2
メニュー バー 4
ファイル 5
編集 5
画像 6
挿入する 6
オペレーション 7
ウィンドウ 7
ﾍﾙﾌ 7
キーボードを用いての、メニュー バーからのオプション選択 8
ツール バー エリア 9
グラフィックの表示ウィンドウ 9
ステータス バー 10
ダイアログ ボックスの内容 11
編集ボックス 14
一覧ボックス 15
オプション ボタン 19

チェックボックス 19
コマンド ボタン 19
ダイアログ ボックスのタブ 24
ドロップダウン 一覧ボックス 24
ダイアログボックスをアクセスするオプション 25
編集ウィンドウをスクロール 25
ダイアログ ボックスの移動 26
ユーザー インターフェイスのカスタマイズ 27
デフォルト ユーザー インタフェースの回復 28
ユーザー インタフェイスのフォントのカスタマイズ 29
メニューのカスタマイズ 31
ツール バーのカスタマイズ 36
ショートカット キーのカスタマイズ 41
ユーザー インターフェース要素のドッキングとアンドッキング 44

ユーザーインターフェースの利用

ユーザーインターフェースの利用：概要

このセクションでは PC - DMIS 使用の概要を説明します。ここではソフトウェア操作に必要な基本操作について記載します。PC-DMIS の能力を十分に引き出し、測定ルーチンのプログラミングをできるだけ簡単にするには、この項全体を読み、コンピュータの指示に従ってください。

また、この項ではそれぞれのニーズに合わせて PC-DMIS のグラフィックオプションをカスタマイズする方法についても触れています。(これらの使用可能なオプションに関する追加情報については「CAD 表示の編集: はじめに」セクションを参照してください。)

以下に記載される各トピックはンターフェイスの特定の機能を示します。これらは、この項で述べられている項目です：

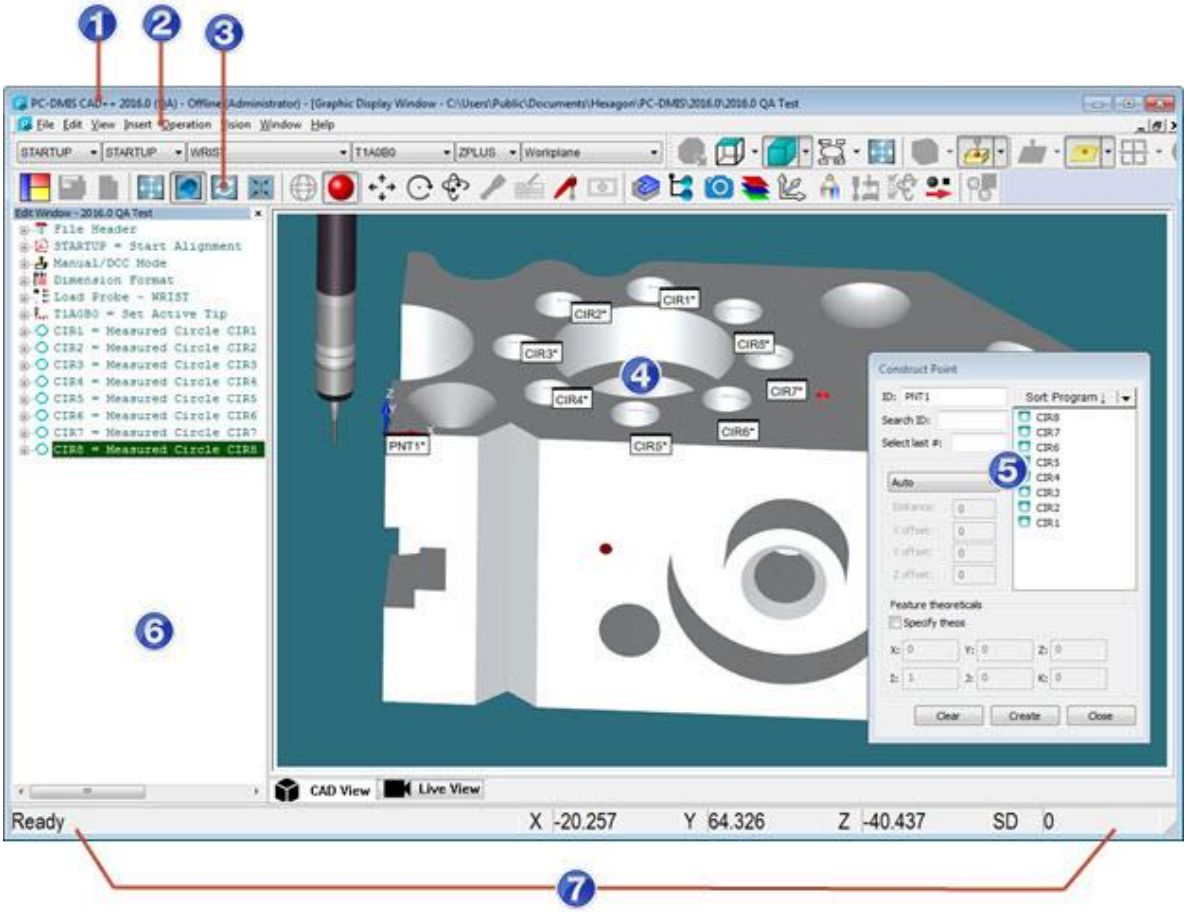
- スクリーンの概観
- メニュー バー
- ツール バー エリア
- グラフィックの表示ウィンドウ
- ステータス バー
- ダイアログ ボックスの内容
- ユーザー インターフェイスのカスタマイズ

PC-DMIS ではマウスまたはキーボードを使用してコマンド入力またはオプション選択を柔軟に行えます。ショートカットメニューとショートカットキーは頻繁に使用されるコマンドに割り当てられます。「ショートカットキーおよびショートカットメニューの使用: はじめに」セクションを参照してください。

スクリーンの概観

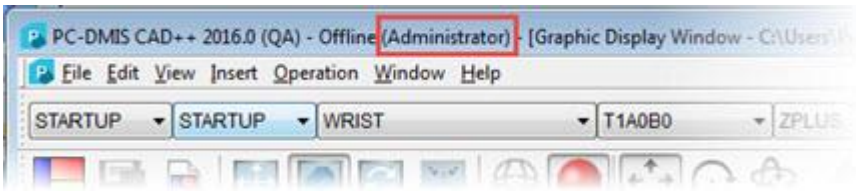
PC-DMIS は一貫性のある画面外観をユーザーに提供します。

スクリーンは、幾つかのエリアに分かれており、その各エリアでは特定の機能を実行するか、または必要な情報が表示されます。下記に各スクリーンエリアの簡単な説明を記します。（より詳しい情報については文書の指定の場所に記載されています）。



PC-DMIS ユーザーインタフェースの画面の外観

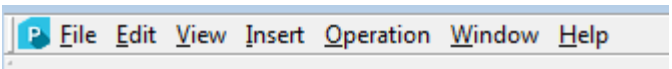
1. タイトルバーは以下を提供します：
    - バージョン情報を表示します。
    - 現時点で読み出された測定ルーチンを表示します。
    - PC-DMIS が管理者モードである場合に表示すること



- 標準の Windows の**最小化**、**最大化**および**閉じる**ボタンがあります

2. **メニュバー** は PC-DMIS アプリケーションからの利用可能なメニュ及びメニュ項目を含めています。詳細については、「メニューバー」を参照してください。
3. **ツールバー**エリアにはよく使われるコマンドのツールバーが含まれています。これらのツール バーは、**ツールバー**エリアを右クリックすることで簡単にアクセスできます。「ツール バー エリア」を参照してください。
4. グラフィックの表示ウィンドウではパーツの表現をグラフィックに表示します (トップビューを図に示します)。このエリアのサイズは一定です。ただし、表示エリアは、最大四つの異なるパーツ画像に分割が可能です。詳細については、「グラフィック表示ウィンドウ」を参照してください。
5. ダイアログ ボックスは Planner とユーザー間の主な通信チャネルです。利用可能な要素はダイアログ ボックスに表示され、大部分の入力データが入力されます。詳しくは「ダイアログ ボックスの説明」を参照してください。
6. 編集ウィンドウは測定ルーチンを表示します。このウィンドウでは測定ルーチン内の特定コマンドにアクセスでき、個々の仕様を満たすように変更を行うことができます。完全に文書化された編集ウィンドウの操作については、「測定ルーチンの編集」および「編集ウィンドウの使用 : 概要」の章を参照してください。
7. ステータス バーは、その時点でのオペレーションにとって重要な情報を表示します。これは、プローブの現在位置、プローブ校正データ、測定された最後の要素の標準偏差、ヒット数、およびその他などの情報を含みます。また、それには、進行中のオペレーションについての関連情報を伝えるメッセージ エリアを含みます。より詳しい情報は 「ステータスバー」 を参照ください。

メニュー バー



下記にあるこのトピックは各メニューの簡単な説明を提供します。詳しくは、必要に応じて適切な章を参照してください。また、PC-DMIS には、色々なショートカットメニューがあります。これらは「ショートカットキーおよびショートカットメニューの使用: はじめに」の章で説明しています。

特定のメニュー項目に関するヘルプを参照したい場合は、メニュー項目の上にマススを置いて F1 を押してください。

ファイル

ファイルメニューでは、ファイルをオープン、保存、印刷したり、編集ウィンドウをアクセスしたり、実行モードで測定ルーチンを実行したり、または測定ルーチンから終了することができます。さらに詳しい説明については、「基本的なファイルオプションの使用: はじめに」及び「高度なファイルオプションの使用: はじめに」章を参照して下さい。

編集

[編集]メニューでは、測定ルーチンのユーザー設定、測定ルーチンまたは CAD 表示を編集できます。

- 優先設定を編集するには、「優先設定: はじめに」の章を参照してください。
- 編集ウィンドウで測定ルーチンを編集するための詳細については、「測定ルーチンの編集 : 概要」と「編集ウィンドウの使用 : 概要」の章を参照してください。
- CAD 図面の表示を編集するには、「CAD 表示の編集: はじめに」の章を参照してください。

画像

ビューメニューでは、全てのウィンドウ、エディタ、及び PC-DMIS 利用可能なツールバーにアクセスできます。完全な情報については、「その他のウィンドウ、エディタ、及びツールの使用: 概要」の章を参照してください。

挿入する

測定ルーチンの一連のコマンドには**挿入**メニューからアクセスできます。

本文書を構成するほとんどの章は、このメニューに表示されるオプションとサブメニューに由来します。

- 「**ハードウェアの定義**」 サブメニューのオプションについては「ハードウェアの定義」の章で説明されています。
- **要素**サブメニューのオプションは以下の章で説明されています: 「要素の自動作成」、「測定された要素の作成」、「既存の要素から新要素の作成」、「一般要素の作成」。
- **アラインメント**サブメニューのオプションは「アラインメントの作成と使用」の章で説明されています。
- **寸法**サブメニューのオプションは「旧式寸法の使用」の章で説明されます。
- **スキャン** サブメニューのオプションは「パートのスキャン」の章で説明されています。
- **移動** サブメニューのオプションは「移動コマンドの挿入」の章で説明されています。
- **フローコントロールコマンド**サブメニューのオプションは「フローコントロールを使用した分枝」の章で説明されています。
- **統計コマンド**サブメニューのオプションは「統計データのトラッキング」の章で説明されています。

- **レポートコマンド**サブメニューは、Diminfo および Pointinfo ボックスを CAD 表示および測定ルーチンに追加する機能も備えており、「レポートコマンドの挿入」の章に記載されています。
- **ファイル I/O コマンド**サブメニューのオプションは「ファイル入力/出力の使用」の章で説明されています。
- **モジュール**サブメニューのオプションは、PC-DMIS とともにインストールされたツールキットモジュールを示しています。
- **挿入** メニューの残りオプションは、「式及び変数の使用」の章と「外部要素の追加」の章で説明されています。

オペレーション

操作 メニューの項目はドキュメントの様々なトピックに説明されます。

ウィンドウ

[**ウィンドウ**]メニューでは開いているすべての測定ルーチンの表示を管理できます。「複数ウィンドウの操作と表示」の章を参照してください。

ヘルプ

ヘルプ メニューは PC-DMIS コマンド、ダイアログ ボックス, 、メニュー項目、メッセージなどの総合的な情報を提供します。[**ヘルプ**] メニューの任意の項目を選択するか、またはいつでも F1 を押すと PC-DMIS ヘルプファイルがアクティベートされます。PC-DMIS は PC-DMIS ヘルプファイルを起動します。「オンラインヘルプの使用」の章を参照してください。

また、PC-DMIS のバージョン情報も提供し、PC-DMIS ソフトウェアを自動的にアップデートするオプションも提供します。はじめに:概要の章のソフトウェアのアップデートを参照してください。

キーボードを用いての、メニュー バーからのオプション選択

キーボードを使用してメニューを開き、オプションを参照するには、Alt キーを押し、開きたいメニュー名で下線が付いている文字を押します。

キーボードを使用して**ビュー** メニューを開くには、ALT と V (下線付きの文字)を押します。同じような方法でメニューからオプションを選択できます。対応するオプションの下線付きの文字を押すだけです (つまり、Cut(切り取り) の場合: T キーを押します)。

また、メニューは矢印キーでも開くことができます。

手順は次のとおりです:

1. メニュー バーに切り換えるには、ALT キーを押して下さい。
2. 目的のメニューに移動するには、左/右矢印キーを使用します。
3. オプションを選択するには、上/下矢印キーを使用します。
4. ご希望のオプションがハイライトで表示されたら、入力キーを押して下さい。

また、ショートカット キーには、多数のオプションが割り当てられています。ショートカットキーはコマンドまたはオプションの右側に表示されます。

さらに詳しい情報について、「ショートカットキーおよびメニューの使用」の章を参照してください。

ツール バー エリア

PC-DMIS は頻繁に使用されるコマンドで構成された様々なツールバーを提供します。これらのツール バーは、二つの方法のうちいずれかを用いてアクセスすることができます。

1. **像 | ツール バー** サブメニューを選び、現れたメニューからツール バーを選択して下さい。
2. PC-DMIS の**ツールバー**エリアを右クリックし、現れたショートカット メニューからツール バーを選択して下さい。

ツールバーエリアにツールバーが置かれたら、まず左または右のエッジとボタンの間のスペースをクリックして、ツールバーを別の場所にドラッグすることでツールバーを移動できます。

PC-DMIS ツールバーに関する詳細な説明については、「ツールバーの使用」の章を参照してください。

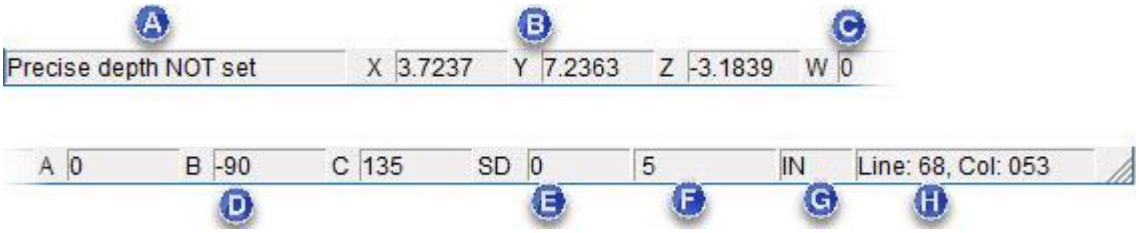
グラフィックの表示ウィンドウ

グラフィックの表示ウィンドウはグラフィックを非常に簡単に表示します。測定ルーチンを作成またはそれにアクセスしているとき、デフォルトではこのウィンドウが開きます。このウィンドウを表示または非表示にするには、 **表示| グラフィックの表示ウィンドウ**メニューオプションを選択します。

- このウィンドウは、インポートされた CAD パーツ、プローブ、任意のシミュレーション下の測定機や固定具などを、複数のウィンドウ枠で画像表示します。
- 測定された、自動的な、作成された要素とそれらの ID ラベルを示します。
- これはスキャン、GD&T コールアウト、寸法及びテキストボックスを示します。

グラフィックの表示ウィンドウは PC-DMIS の不可欠な部分です。グラフィックの表示ウィンドウの編集、および画面表示を変更することについては、「CAD 表示の編集」の章を参照してください。

ステータス バー



ステータスバーには次のように表示されます：

A. **メッセージボックス:** 一番左のボックスは現在のプロシージャまたはコマンドに関係つける手順およびその他の情報を示します。

B. **X、 Y、および Z ボックス:** これらのボックスはプローブの X、 Y、及び Z 位置を示します。ステータスバー内の 3 つの座標のうち任意の一つをクリックすると**[点の自動移動]**ダイアログボックスが現れます。（DCC の点移動に関する詳しい情報は移動コマンドの挿入の章にある「点の移動コマンドの挿入」を参照してください）

C. **W:** 回転テーブルの角度:

D. **A、B、C ボックス**：これらのボックスには、CMS プローブなどの 3 軸のリストプローブの A、B、C の手首角度が表示されます。お使いの手首プローブは 2 つの軸のみを支援します。その場合、ステータスバーのこの部分には A と B のみが表示されます。
E. **SD:** これは最後の要素測定の標準偏差を示します。
F. **ヒット#:** 現在取られるヒット数を示します。
G. **IN/MM:** これは測定ルーチンで使用される現在の測定の単位を示します。
H. **行:** ボックスは編集レポートにカーソルの位置の現在の行を表示する番号を示します。**列:** テキストは編集レポートにカーソルの位置の現在の列を表示する番号を示します。

ステータス バー操作

- ステータス バーを拡大する場合、[**表示 | ステータス バー | 拡大**]を選択します。サイズが大きくなっているため、この大きなステータスバーには、**メッセージ**、**XYZ**、**SD**、**ヒット数：**、**行：**および**列：**ボックスのみが表示されます。

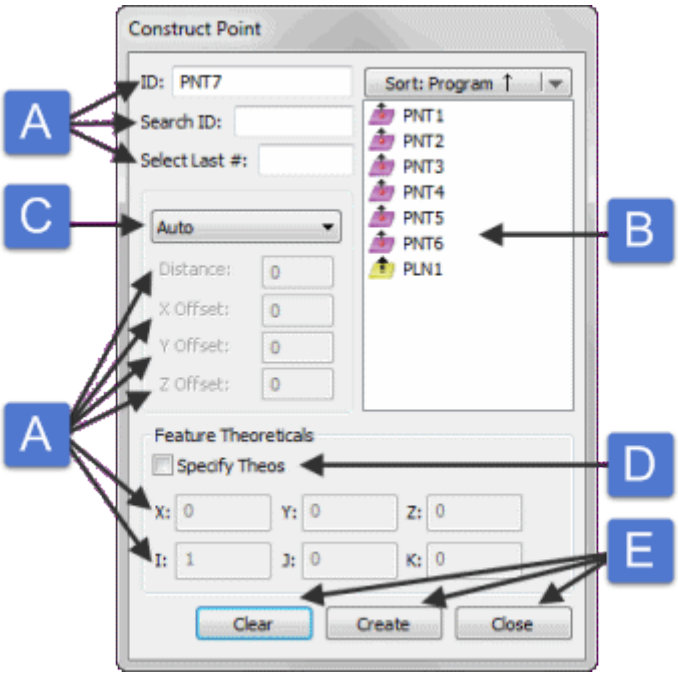
- ステータスバーを通常のサイズに戻すには、**ビュー| ステータス バー| 標準**を選択します。
- ステータス バーを表示または非表示するには、**表示 | ステータス バー | ステータスバーを隠す**を選択します。

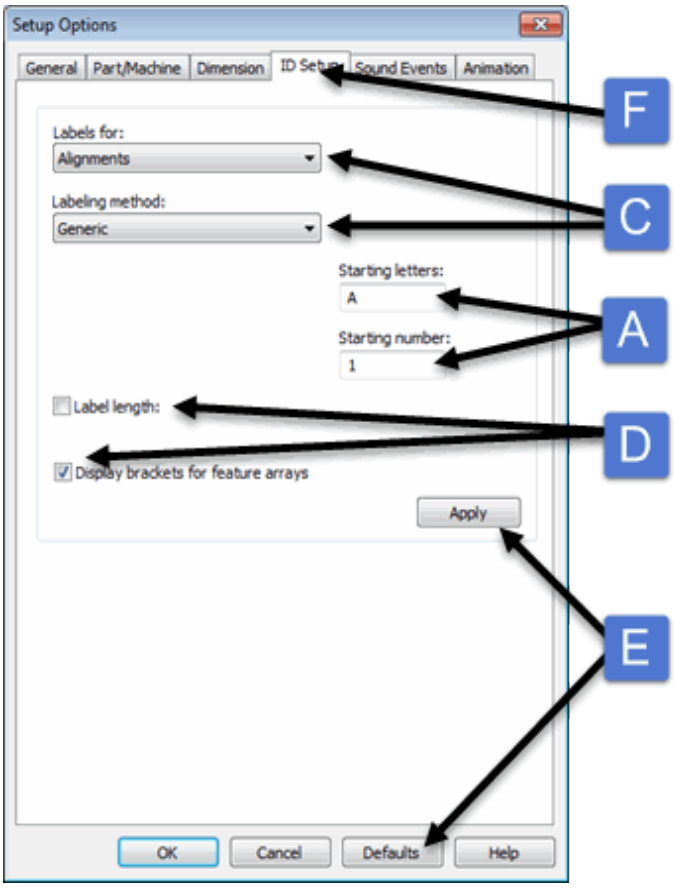
ダイアログ ボックスの内容

ダイアログ ボックスには、コマンドの実行方法を PC-DMIS に指示するための、様々なボックスやボタン（コントロールとも呼ばれます）があります。ダイアログボックスは、既存のデフォルト設定を表示することもあり、変更の必要がない場合にはそのデフォルトをそのまま保存できます。ダイアログ ボックスの全部のコントローラが設定された場合、**OK** を選択してコマンドを実施します。コマンド

を取り消してダイアログ ボックスを閉じるには、**キャンセル**ボタンをクリックします。

グラフィックは PC-DMIS にほとんどのダイアログボックスのいくつかの共通の要素を説明します。





A - 編集ボックスまたはフィールズ

B - List Box 一覧ボックス：

C - ドロップダウンリストボックス

D - チェックボックス

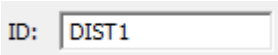
E - コマンド ボタン

F - タブ

編集ボックス

編集ボックスで目的の値または名前を入力します。本文書では、手動編集ボックスは単に「ボックス」と表記されます。PC-DMIS の多くのダイアログボックスで使われている、編集ボックスを以下に列挙します：

ID=[フィーチャー]



このボックスは要素、寸法 ID または作成される要素と寸法の名前を示します。

ID を変更するには：

1. 直前に表示されていた ID を選択して下さい。
2. 新 ID をタイプして下さい。
3. タブ キーを押して下さい。

測定寸法 ID の変更について：

- ID の数字部分のみ変更し、測定結果のカウンターを任意の数字にリセットすることができます。
- ID のテキスト部分のみを変更し、次の測定結果からデフォルトのテキストとして設定することができます。(「ユーザー設定」章にある [**設定オプション**] ダイアログ ボックスの [**ID 設定**] タブを参照してください。)

ID を探す

ID を検索ボックスでは、現在の操作に使用する要素 (または寸法) ID をキー入力できます。このボックスを使用すると、メタキャラクタ検索オプションを用いた検索が可能です。要素 または寸法 ID は、適切な **要素リスト** ボックス(または**寸法リスト** ボックス)にハイライトされます。

ID を検索 ボックスに要素 ID を入力してまた ENTER を押す場合、 PC-DMIS は**要素リスト** または**寸法リスト** ボックスからの要素を選択します。

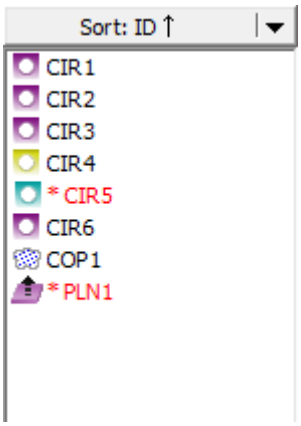
直前のいくつかを選択

最終要素からの選択数 ボックスでは、要素（または寸法）の最後から特定の数を選択できます。例えば、 最後に作成された四つの要素を選択したい時、単に **4** を入力して TAB キーを押します。PC-DMIS は**要素リスト** ボックスに選択された要素をハイライトします。

一覧ボックス

リストボックスは編集ボックスと似ていますが、リスト表示された値を変更することはできません。この文書では、リストボックスは「リスト」または「ボックス」と呼びます。PC-DMIS の多くのダイアログボックスで使われている、リストを以下に列挙します：

要素リストボックス



フィーチャー一覧ボックス

要素リスト ボックスは測定ルーチン内で利用可能な要素のリストから成ります。PC-DMIS は選択された要素を使用して、アラインメントの定義、新しい要素の作成、寸法の作成などの操作を実行します。CAD 表示の編集の章にあるグラフィックス表示ウインドウを使用した要素の選択トピックに記載された指示に従って要素を選択してください。

クイック要素機能を使用する場合は、ダイアログボックスが開いた状態で新規要素を追加できます。 PC-DMIS は、作成時にリスト内の要素を選択します。クイック要素の作成の詳細については、「要素の自動作成」章の「クイック要素の作成」トピックを参照してください。

左側にアスタリスク (*) の付いた赤色のテキストで表示された要素は、測定ルーチン実行中にスキップされた要素であることを示します。

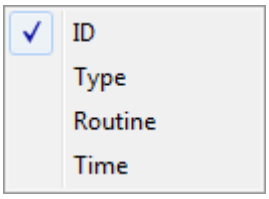
クリア または**クリア・リスト** ボタンの使用で選択された（ハイライト）要素は解除できます。

外部測定ルーチンを添付している場合 (「外部要素の追加」 章の「外部測定ルーチンの添付」を参照）、PC-DMIS は 添付された測定ルーチンの参照に使用する変数（またはポインタ）も一覧表示します。プラス記号（+）がポインタの左に表示

されます。このプラス記号をクリックすると、添付された測定ルーチンの全要素が展開または折り畳み表示されます。

要素の並べ替え

[要素の一覧] ボックスの上にあるドロップダウン矢印ボタンをクリックすると、以下に示すように利用可能な様々な並べ替え方法が表示されます。



要素の一覧の並べ替えメニュー

選択が行われたら、選択したオプションをもとに自動的にリストが並べ替えられます。リストに新しい項目が追加された場合、**[並べ替え]** ボタンをクリックすると、ボタンに表示されている現在の並べ替えオプションに基づいてリストが再度並べ替えられます。ボタンを再度クリックすると、表示された並べ替え方法の右にある上（または下）矢印に示すようにリストが逆順に並べ替えられます。

並べ替えオプションの定義

- **ID** - 要素 ID に基づいてリストをアルファベット順に並べ替えます。
- **タイプ** - 要素タイプごとに並べ替えます。この場合、要素の ID は第二並べ替え条件として使用されます。
- **ルーチン** - 要素が測定ルーチン内で表示される順番に基づいてリストを並べ替えます。
- **時間** - 最後に測定された要素の時間に基づいてリストを並べ替えます。

測定寸法一覧ボックス

測定結果リストボックスは測定ルーチンに作成されたすべての測定結果のリストから成ります。リストボックスから希望の測定結果を選択し、関連するダイアログボックスで希望の変更またはオプションを選択することによって、測定結果を編集したり分析することができます。ユーザは、Ctrl または Shift を押す同時に、もう一つの寸法をクリックすることによって、一度に複数の寸法を選ぶことができます。

寸法情報の編集ダイアログボックス内で、寸法が既に寸法情報ボックスに関連付けられている場合、PC-DMIS はリストの寸法 ID の隣に星印（*）を付けて表示します。寸法情報が現在のビューのどれにも表示されていない場合、ID の隣にシャープ記号（#）が付きます。

例えば、CIR4 という名前の円に対して RND1 という名前の真円度の測定結果を仮定します。この真円度の測定結果には既に関連する DIMINFO ボックスが付いているが、DIMINFO ボックスはグラフィックの表示ウィンドウのすべてのビューから隠れている場合、リスト内の ID は次のように表示されます:

RND1->CIR4->*#

アスタリスクと番号記号のシンボルの例

オプション ボタン

エリアはダイアログ ボックスに利用可能な機会を示すオプション・ボタンを含みます。希望ボタンへのクリックで利用可能な機会の間にスイッチします。オプションを選択している場合、選択されたオプションの左に黒丸が示し、その他の全部のオプションはクリアされます。そのエリアからは 1 つだけのオプション・ボタンを選択することができます。

チェックボックス

チェックボックスをクリックしてオプションをオンまたはオフにします。オプションはチェックマークがボックス内に表示されたときに「オン」と見なされます。複数のチェックボックスを選択できます。

コマンド ボタン

コマンドボタンは、動作を実行します。PC-DMIS にほとんどのダイアログボックスに共通するコマンドボタンはここに記載されます：

適用する

適用 ボタンでダイアログボックスへの選択を適用してもっとの変更にダイアログボックスを開いたままにします。

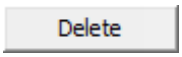
OK

OK ボタンで変更の保存と適用またダイアログ ボックスの終了ができます。一部分のダイアログ ボックスに、**OK** ボタンのクリックで、 編集ウィンドウへコマンドを挿入できます。

キャンセル

キャンセルボタンを押すとすべての変更を無視し、ダイアログボックスを閉じます。

削除する



削除ボタンで特定のリストボックスから項目(作成要素、測定結果、プローブ・ファイル、配置情報など）を除去します。

CAD を削除 ダイアログ ボックスに、**削除** コマンド・ボタンは選択した理論値要素を削除します。CAD 削除を参照してください。

直前

最後ボタンでは、関連するリストボックスの最後の項目を選択できます。

直前の二つ

Last Two

最後のふたつの ボタンで関連するリストボックスでの最後の二つの項目を選択できます

全部選択

Select All

すべてを選択 ボタンで関連付けられているリストボックスにすべての項目を選択します。

デフォルト

Default ボタン

デフォルトボタンを使用して、いくつかのパラメータのデフォルト設定を更新します。新しい測定ルーチンを作成すると、デフォルト値として保存されているすべての変更点が反映されます。

このデフォルト値はレジストリに保存されます。これらのパラメータは、該当するダイアログボックスを通して、または、*PC-DMIS Settings Editor* を用いてレジストリ自体を編集することによって更新することが可能です。このアプリケーションは PC-DMIS でインストール設定に含まれています。より詳しい情報については「レジストリ エントリーの変更」を参照してください。

- [**デフォルト**]ボタンをクリックしないで[**OK**]ボタンをクリックすると、定義したパラメータがアクティブな測定ルーチンにのみ適用され、レジストリのエントリー変更は行われません。
- パラメータを変更し、**デフォルト** ボタンをクリックする場合、 PC-DMIS はレジストリエントリーを更新して、デフォルトをその時点のエントリーと再定義します。

デフォルトボタンで、後に作成された新しい測定ルーチンに新しいデフォルト値を保存および適用できます。

呼び出し

Recall

リコー ボタンを使用して、**デフォルト** ボタンをクリックすることにより、オリジナル値が変更されていない限り、元の工場出荷時の設定を呼び戻すことができます。その場合では PC-DMIS はレジストリに保存した値を回復します。

測定機オプション ダイアログ ボックスを使って、コントローラから工場出荷時の設定を読み取り復元する情報については、「測定機のセットアップ インターフェース」「優先設定」の章を参照して下さい。

作成

Create

作成 ボタンは特定のダイアログボックスに加えられた変更を適用し、要素、寸法、スキャンなどを作成します。次にそれが作成された項目を編集ウィンドウとグラフィック表示ウィンドウに配置します。

作成ボタンでダイアログ ボックスを閉じません。**閉じる**ボタンをクリックしている場合、ダイアログ ボックスを閉じます。

閉じる

Close

閉じる ボタンでダイアログ ボックスを閉じます。いくつかのダイアログ ボックス（それ以上のオプションを選択したい場所）が **OK**、 **適用**、 または**作成** ボタンで自動にダイアログ ボックスを閉じます。

クリア

Clear

クリア コマンドボタンで、リストボックスから選択された任意の項目のハイライトをクリアできます。いくつかの場合においては、**クリア** ボタンは、特定のリストボックスから選択項目を完全に削除します（**例: 新規角度リスト** ボックスの AB ポジション）。

いくつかのダイアログ ボックスとタブに **クリア** ボタンは **適用** または **OK** ボタンはクリックされて PC-DMIS に現在の「建設」値を回復する前に入力また変更された任意の値をクリアします。**デフォルト** ボタンを使用してデフォルト値を保存したい場合、PC-DMIS はそれらの値を保存します。

アンドゥ

Undo

元に戻す ボタンは **適用**ボタン(または DCC のスキャン**一般** ボタン) の操作を元に戻します。**OK** ボタンを押すと、変更を元に戻すことができません。

ヘルプ

Help

ヘルプボタンで、現在ダイアログ ボックスと関連するオンライン・ヘルプ・トピックを開きます。

ダイアログ ボックスのタブ

ダイアログ ボックスの中には、タブを含むものがあります。識別マーカーとして、これらのタブファイリングキャビネット内のフォルダの名前と同じようになります。簡単にタブにクリックして希望のウィンドウまたはほかのタブの前のオプションをもたらします。タブに関連付けられたすべてのオプションやコマンドは表示されます。

ドロップダウン 一覧ボックス

ドロップダウン一覧ボックスはメニューのよう作業します。その時点での選択物の右にあるドロップダウン 矢印アイコン をクリックするか、キーボード上の ALT キーとアップ矢印キーまたはダウン矢印キーを押して下さい。また、F4 を押しても、利用可能なオプションが表示されます。一覧を閉じるには、F4 キーを再度押して下さい。現在の選択がハイライトボックスに表示されます。

ダイアログボックスをアクセスするオプション

マウスやキーボードはダイアログ ボックスにオプションへのアクセスに使用されます。マウスを使ってオプションアクセスするには、簡単に必要なオプションにポイントしてクリックします。

キーボードを用いれば、利用可能なオプションの間を様々な方法で移動できます:

- 次に使用可能なオプションに移動するには、**Tab** キーを押します。
- 前の利用可能なオプションに移動するには、 **Shift+Tab** を押します。
- 現時点のドロップダウンリストを表示するには、**Arrow** キーを押します。
- 現時点のコマンドを選択するには、 **Enter** キーを押します。
- 現時点のチェックボックスまたはボタンを選択するには、**Space Bar** を押します。

編集ウィンドウをスクロール

編集ウィンドウは、ダイアログ ボックスと同じように移動できます。「ダイアログ ボックスの移動」を参照してください

編集ウィンドウでは、スクロールバーを使って、ウィンドウ内のデータをより多く見ることができます。

スクロールするには：

1. マウスポインターをスクロール矢印の上に置いて下さい。
2. マウスの左ボタンをクリックまたは押さえ続けて下さい。

PC-DMIS は、スクロール矢印の指す方向にテキストをスクロールします。例えば、スクロールダウンするには、下向きのスクロール矢印をポインターで選び、マウスの左ボタンをクリックして下さい。

編集ウィンドウについて詳しくは、「測定ルーチンの編集」と「編集ウィンドウの使用」の章を参照してください。

ダイアログ ボックスの移動

マウスを使って、ウィンドウやダイアログボックスを移動することができます。

ダイアログ ボックスまたはウィンドウを移動するには：

1. マウスポインターをタイトルバーの上に置いて下さい。
2. マウスの左ボタンを押さえ続けて下さい。
3. グラフィックス表示ウィンドウの希望の位置にダイアログボックスまたはウィンドウをドラッグします。
4. マウスボタンをリリースして下さい。

PC-DMIS ダイアログボックスまたはウィンドウを新しい場所に移動します。

PC-DMIS は、さまざまな PC-DMIS ダイアログボックスの最後の位置を格納します。ダイアログボックスを再度開く場合、最後に使用した場所（複数のモニタ間でも）でダイアログボックスが開きます。

PC-DMIS を別のモニタに移動すると、PC-DMIS はダイアログボックスの位置をリセットします。つまり、ダイアログボックスをそのモニターのデフォルトの位置に開きます。

ユーザーインタフェースの他の部分にいくつかのダイアログボックスおよびその他のインターフェイス要素をドッキングすることができます。これらのダイアログボックスは移動前に、ドッキング解除しなければならない場合があります。UI 要素をドッキングおよびドッキング解除する方法について詳しくは、「ユーザーインターフェース要素のドッキングとアンドッキング」を参照してください。

ユーザー インターフェイスのカスタマイズ

メニューの再編成、独自のプログラムをメニューへ追加、または新しいメニューとオプションを同時に作成することが可能です。PC-DMIS で PC-DMIS にコマンドをネイティブにリンクして、ツールバーにコマンドをカスタマイズできます。ユーザーインターフェイスを変更する方法については、以下のトピックで説明します：

- デフォルト ユーザー インタフェースの回復
- ユーザー インタフェイスのフォントのカスタマイズ
- メニューのカスタマイズ
- ツール バーのカスタマイズ
- ショートカット キーのカスタマイズ

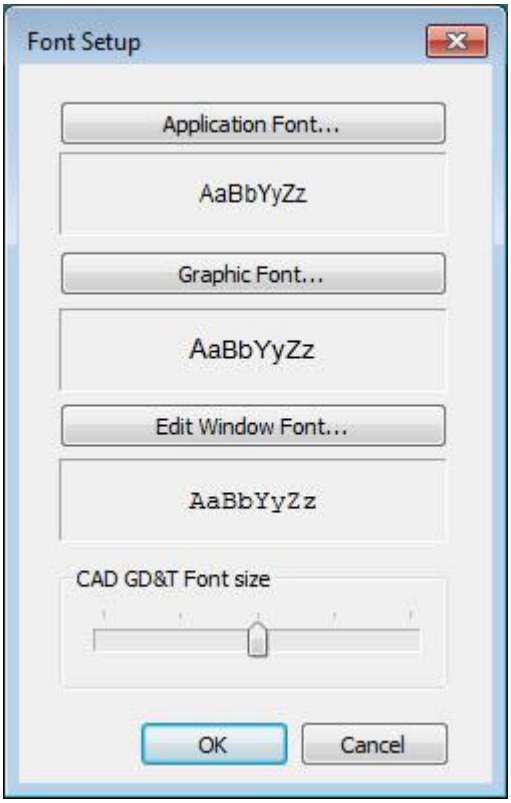
本文書の構成は、当バージョンの PC-DMIS で出荷されたデフォルト ユーザー インターフェースに基づいています。ユーザーインターフェースをカスタマイズすると、既存の文書の手順に従いにくくなることにご注意ください。

デフォルト ユーザー インタフェースの回復

PC-DMIS のこのバージョで出荷したデフォルト ユーザー インターフェースに PC-DMIS の概観を回復したい場合、以下の手順に従って下さい:

1. PC-DMIS を閉じて下さい。
2. PC-DMIS がインストールされた先のディレクトリに進んでください。
3. お手持ちの Windows ユーザープロフィールであるディレクトリにアクセスして下さい。
4. 起動している言語の三つの文字コードを参照するメニュー_xxx.dat という名前のファイルを削除します。英語について、menu_eng.dat を削除します。
5. PC-DMIS を再起動して下さい。それはデフォルト ユーザー インターフェースを使用します。

ユーザー インタフェイスのフォントのカスタマイズ



ﾌｫﾝﾄダイアログ ボックスの変更

フォント属性を変更するには、[**編集| ユーザー設定 | フォント**]メニューオプションを選択して[**フォント設定**]ダイアログボックスにアクセスします。このダイアログボックスを使用してフォント属性を変更することができます 。このフォント属性には、メインユーザーインタフェース、グラフィック表示ウィンドウおよび編集ウィンドウでのフォント、サイズ、スタイルなどがあります。

フォントを変更するには：

1. これらのオプションボタンの 1 つを選択すると標準の**フォント**ダイアログボックスが表示されます：

- **アプリケーションフォント** - これによってメインアプリケーションのフォントが変ります。　これには**設定**ツールバー上のリスト、プレビューウィンドウ、読み出しウィンドウ、ステータスバー、メッセージボックスなどがあります。
- **グラフィックフォント** - これはグラフィックの表示ウィンドウでのテキストのフォントを変更します。これは要素ラベル、測定結果情報、ポイント情報テキストボックスなどに影響を及ぼします。

> **グラフィックフォント**では、テキストボックスのみが**下線**および**ストライクアウト特性**を支援します。

- **編集ウィンドウフォント**–これは編集ウィンドウのフォントを変更します。編集ウィンドウでの推奨フォントについては下記の注を参照してください。

3. **フォント**ダイアログボックスでリストを使用してフォント変更を選択します。
4. **OK** をクリックして、**フォント**ダイアログ ボックスを閉じます。
5. **フォント設定**ダイアログボックスで **OK** をクリックして変更を確定します。

> コンピュータシステムでは任意フォントを使用できますが、フォントの中にはスペースが均一でないものがあることに注意してください。これによってコンポーネントの一部が読みづらくなることがあります。編集ウィンドウのテキストでは、*Courier New* フォントなど、モノスペースの固定幅フォントを使用することをお勧めします。それ以外を選択すると、文字、行、見出しが期待通りに並ばないことがあります。

CAD GD&T フォントサイズ

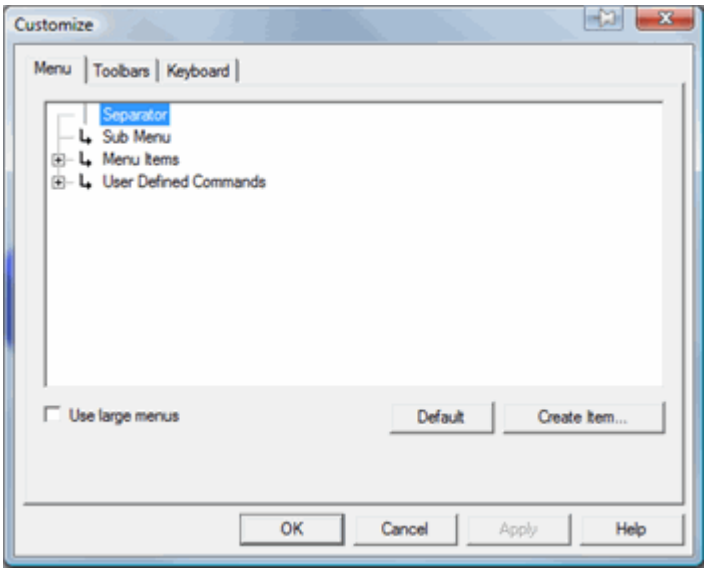
このスライダを使用して、グラフィック表示ウィンドウに表示される任意の GD&T CAD 要素のサイズを拡大/縮小することができます。中間点の上または下のそれぞれの増分は、フォントを 10%増減します。スライダを調整すると、フォントサ

イズがダイナミックに変更されます。変更されたフォントサイズを保持するには **OK** をクリックします。

メニューのカスタマイズ

メニューバーのメニューをカスタマイズするには：

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ**メニュー オプションを選択して、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスにアクセスします。
2. **メニュー**タブを選択して下さい。



カスタマイズ ダイアログボックス - メニュータブ

このタブを用いて、新たなメニュー項目を加えたり、既存のメニュー項目を移動したり、メニュー項目をメニューバーから完全に除去することができます。

大きいメニューを使用チェックボックスを使用して大きいフォントに全部のメニュー項目を示します。大きなメニューサイズを適用するには PC-DMIS を再起動する必要があります。

メニュー項目の移動

メニュー バー上の新規の位置へ、メニュー項目を移動するには：

1. **ビュー** |**ツールバー** |**カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスし、**メニュー**タブを選択します。
2. PC-DMIS 実際のメニューバー(**メニュー**タブのツリービューのメニューリストではない)に移動したいメニュー項目を移動します。
3. 必要なメニュー項目を選択します。
4. 新しい位置にドラッグします。メニュー構造にアイテムをドラッグしている場合、アイテムが追加される場所を表示する小さな赤い矢印が現れます。
5. マウスボタンをリリースして下さい。メニューアイテムがその元の位置から新しい位置に移動されます。
6. **OK** をクリックして変更を確定し、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスを閉じます。

メニュー項目の削除/復元

メニュー バーからメニュー項目を除去するには：

1. **ビュー** |**ツールバー** |**カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスし、**メニュー**タブを選択します。
2. PC-DMIS 実際のメニューバー(**メニュー**タブのツリービューのメニューリストではない)から削除したいメニュー項目に移動します。
3. 必要なメニュー項目を選択します。
4. それをメニュー バー エリアから外へドラッグして下さい。
5. マウスボタンをリリースすると、当該メニュー項目がメニューから除去されます。

6. **OK** をクリックして変更を確定し、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスを閉じます。

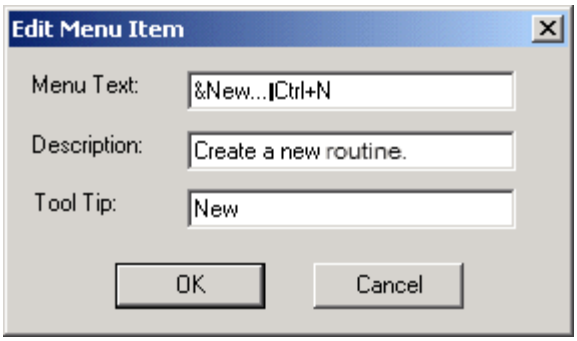
削除されたメニュー項目の回復:

1. **ビュー** |**ツールバー** |**カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスし、**メニュー**タブを選択します。
2. 復元したいメニュー項目に**メニュー**ツリービューの一覧に移動します。
3. メニュー項目を選択して PC-DMIS 実際のメニューバーにドラッグします。メニュー構成上に項目をドラッグしている際に、マウスボタンを離した時に項目が追加される場所を示す、小さな赤色の矢印が現れます。
4. メニュー項目を挿入するために、マウスボタンをリリースして下さい。

既存メニュー項目の編集

既存のメニュー項目、項目名前、説明、及びヒントを編集できます。これをするには、以下の操作を行います。

1. **ビュー** |**ツールバー** |**カスタマイズ**メニュー オプションを選択して、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスにアクセスします。
2. ダイアログ ボックスが開いた後、PC-DMIS のメニュー バー上をクリックして下さい。
3. PC-DMIS の実際のメニューバー(**メニュー**タブのツリービューのメニューリストではない)に変更したいメニューバーの上に右クリックしてメニューを選択します。**メニュー項目を編集**ダイアログ ボックスが現れます。



「メニュー項目編集」ダイアログ ボックス

4. ダイアログ ボックスでメニュー項目を変更して **OK** をクリックします。
5. **カスタマイズ**ダイアログ ボックスで **OK** をクリックします。
6. 変更を検査します。

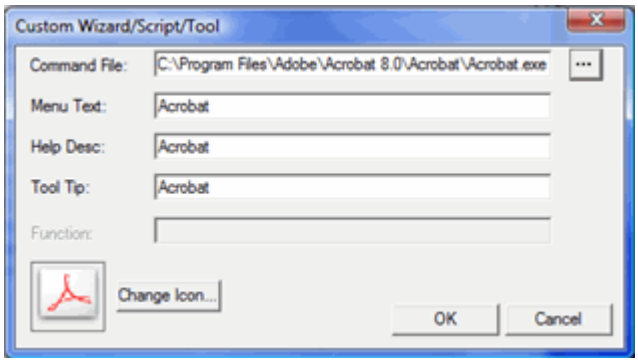
メニューテキスト ボックスでアンパサンド（&）の次の文字は、簡単にメニュー項目を選択するために Alt キーとともに使用する文字であることを示します(例えば、ALT + F + N を選択すると、ファイル**メニュー**項目から **NEW**(新規作成) メニュー項目にアクセスします)。

新メニュー項目の追加

自身のカスタムメニュー項目を作成でき、外部プログラムを結びまたはそれにバッチします。これをするには、以下の操作を行います。

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスし、**メニュー**タブを選択します。
2. **項目を作成**ボタンをクリックします。**カスタム ウィザード / スクリプト / ツール**ダイアログ ボックスが現れます。
3. **[…]** ボタンをクリックします。**開く**ダイアログボックスが現れます。
4. ファイルの種類リストから、挿入する**ファイルの種類**を選択します。
5. カスタムアプリケーション、バッチファイル、BASIC スクリプトなどを含むディレクトリに進んで下さい。

6. 挿入されるファイルを選択し、**開く**をクリックして下さい。**開く**ダイアログ ボックスが閉じて、**ｶｽﾀﾑｳｨｻﾞｰﾄﾞ/ｽｸﾘﾌﾟﾄ/ﾂｰﾙ** ダイアログ ボックスが選択したカスタムプログラムに関連付けられるデフォルトの情報を示します。



カスタム ウィザード/ スクリプト/ ツールのダイアログ ボックスが、サンプル アプリケーションを示しています。

コマンドファイル:
ボックスはコマンドへのパスを示します。

メニューテキスト:
ボックスはアイテムのメニューに使用される名前を指定できます。

ヘルプの説明:
このボックスでは、マウスを項目の上に移動するときに PC-DMIS がステータス バーに示す情報を定義できます。

ツールチップ:
このボックスでは、マウスを項目の上に置いたときに表示されるヒントテキストを指定できます。これは、カスタム項目がツールバー（メニューではない）に追加された時のみ動作します。

関数:
カスタム BASIC スクリプトを使用しない限り、このボックスは使用できません。このボックスが有効になると、これを用いて、読み込まれた .bas ファイルから実行されるサブルーチン、または関数を定義することが可能です。丸括弧をつけずに単にルーチン名を入力します。例えば、BASIC スクリプト実行中に、「TestFunction」と入力すると、TestFunction ルーチンが起動します。

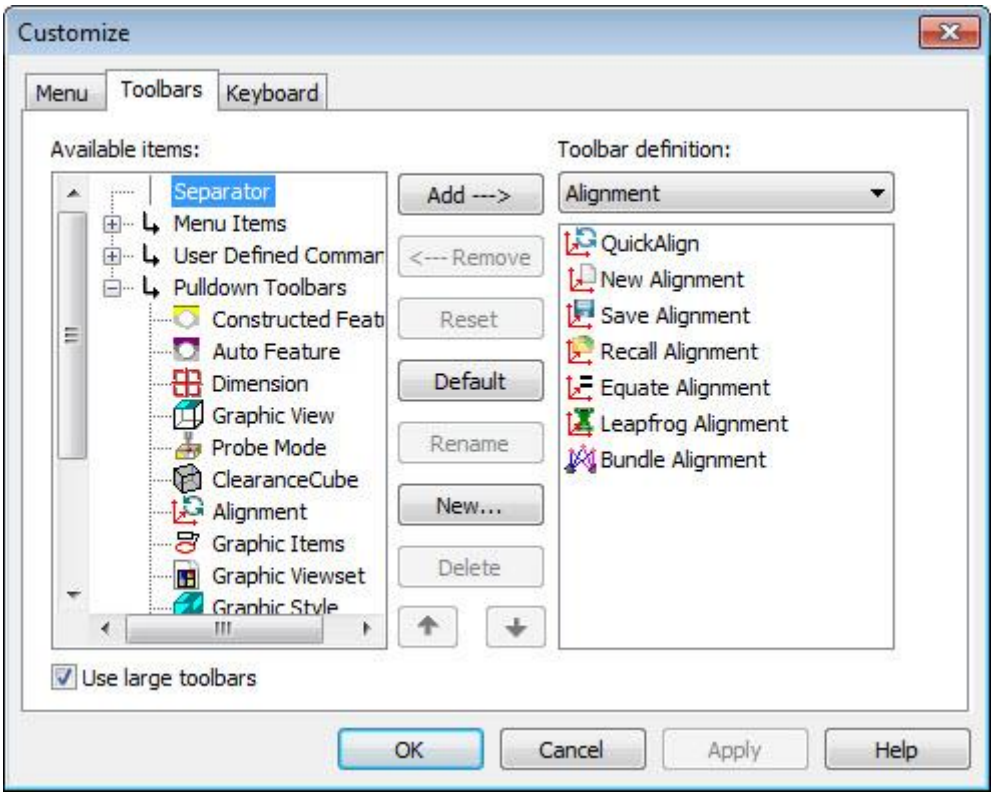
変更アイコン:
ボタンでメニュー項目の表示のアイコンを変更できます。

7. このダイアログ ボックス内で、その他の必要な変更を行って下さい。
8. 変更を確定するために、**OK** をクリックして下さい。PC-DMIS は **カスタマイズ** ダイアログ ボックスの**メニュー** タブに**ﾕｰｻﾞｰ定義ｺﾏﾝﾄﾞ** ツリーに新しく作成したコマンドを挿入します。
9. **ﾕｰｻﾞｰ定義ｺﾏﾝﾄﾞ** ツリービューリストを展開します。
10. 新規に作成されたコマンドを選択し、PC-DMIS の実際のメニューバー上にドラッグします。メニュー構成上に項目をドラッグしている際に、マウスボタンを離した時に項目が追加される場所を示す、小さな赤色の矢印が現れます。
11. コマンドを挿入するために、マウスボタンをリリースして下さい。
12. **カスタマイズ**ダイアログ ボックスを閉じます。これで、新規に挿入されたメニュー項目がメニュー バーに表示されます。

ツール バーのカスタマイズ

メニューバーに示すメニューをカスタマイズするには：

1. **ビュー** |**ツールバー** |**カスタマイズ**メニュー オプションを選択して、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスにアクセスします。
2. **ツールバー** タブを選択して下さい。



カスタマイズ ダイアログボックス - ツール バータブ

このタブを用いて、新ツール バーやツール バーアイコンを追加したり、プルダウンツールバーを新規を追加したり、カスタム ツール バーを除去したり、ツール バーアイコンを既存のツール バーに再設定することができます。

大きいツールバーを使用チェックボックスを使用して全部のツールバー・アイコンを大きいサイズに示します。**OK** または**適用**をクリックしている場合、この変更は自動に発生します。PC-DMIS を再起動する必要はありません。

既存のツール バーの変更

ユーザは、以下に述べるように、いくつかの方法で既存のツールバーを変更することができます。**ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー オプションを選択し

て**ツールバー**タブを選択することにより、**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスできます。

メニュー項目をツールバーに追加するには:

1. **ツールバー定義のリスト**からツールバーを選択します。
2. **利用可能な項目リスト**に添加したい項目を見つかります。
3. それを選択して**→**を**追加** ボタンをクリックします。項目は目的のツールバーに表示されます。
4. **適用** をクリックしてから **OK** を押して変更を受けます。

ツールバーのアイコンを削除するには:

1. **ツールバー定義**のリストからツールバーを選択します。
2. リストに除去したい項目を見つかります（ダイアログの右側）
3. それを選択して**←除去**ボタンをクリックします。
4. **適用** をクリックしてから **OK** を押して変更を受けます。

既存ツール バーは少なくとも 1 つのアイコンを持つ必要があります。最後のアイコンを除去して**適用** または **OK** をクリックして、アイコンがツールバーに残ります。

変更内容を消去するには:

リセットボタンをクリックします。**OK** または**適用** ボタンがクリックされない限り、ツールバーは以前の状態に戻ります。

すべてのカスタマイズされたツールバーを削除して、 このバージョンで配布されたレイアウトをリストアします:

デフォルトボタンをクリックします。

新しいツールバーアイテムを新規作成するには:

新規をクリックします。 カスタム ウィザード / スクリプト / ツールダイアログ ボックスが現れます。項目を選択して追加します。

このドキュメントは上記の「 新規メニュ項目を追加するには」トピックにカストム項目を追加するプロセスをカバーします。

ツールバーに項目の順序を並べ替えます:

1. **ツールバー定義**のリストからツールバーを選択します。
2. 移動したい項目を選択します。
3. 上向き矢印 または下向き矢印 ボタンをクリックしてリストのほかのツールバーアイコンの中にそれぞれに項目を上下に移動します。

ツール バーをリネームします:

1. **ツールバー定義**のリストからツールバーを選択します。
2. **名前を変更**をクリックします。**新しいツール バー名**ボックスが現れます。
3. ボックスに名前を入力して **OK** をクリックします。

また、PC-DMIS では、別の方法を用いて、カスタム ツール バー上のどの項目でもすばやく再編または削除することができます。Shift キーを使用できます。手順は以下のとおり:

ツールバーのアイコンの削除と再配置するには :

1. Shift キーを押して保持します。
2. アイコンをクリックして、ドラッグします。アイコンが移動可能になります。
3. アイコンを*並べ替える*場合、ツールバーの新しい場所にドラッグします。
4. アイコンを*削除している*場合、それをツール バーの境界線外へドラッグして下さい。
5. マウスボタンをリリースして下さい。変更が行われます。

既存ツール バーがそれらにひとつ少なくとものアイコンを持つ必要があるので、このファッションに最後アイコンを除去すると、PC-DMIS を再起動するまでそれが除去のみ続けます。再開後に、アイコンが再び表示されます。

セパレータを追加するには：

1. Shift キーを押して保持します。
2. アイコンをクリックして、ドラッグします。アイコンが移動可能になります。
3. それを少し（その位置を再編するほどの距離ではなく）右にドラッグして下さい。
4. マウスボタンをリリースして下さい。区切りがその左側に現れます。

セパレータを削除するには：

1. Shift キーを押して保持します。
2. アイコンをクリックしてセパレーターの右へドラッグしてください。アイコンが移動可能になります。
3. 当該アイコンを区切りの左側にドラッグして下さい。
4. マウスボタンをリリースして下さい。

カスタム ツール バーの作成

1. **ビュー** |**ツールバー** |**カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**ツールバー**タブを選択することにより、**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスできます。
2. **新規**とクリックして**ツールバー**を選択します。ツールバーの名前を要求する入力ボックスが表示されます
3. ツールバーの名前を入力して **OK** をクリックします。新しいツール バーが、**ツール バーの定義**リストに現れます。これで、ツールバーを変更して新規

のツール バー アイコンを受け入れることができます（「既存のツール バーの変更」を参照して下さい）。

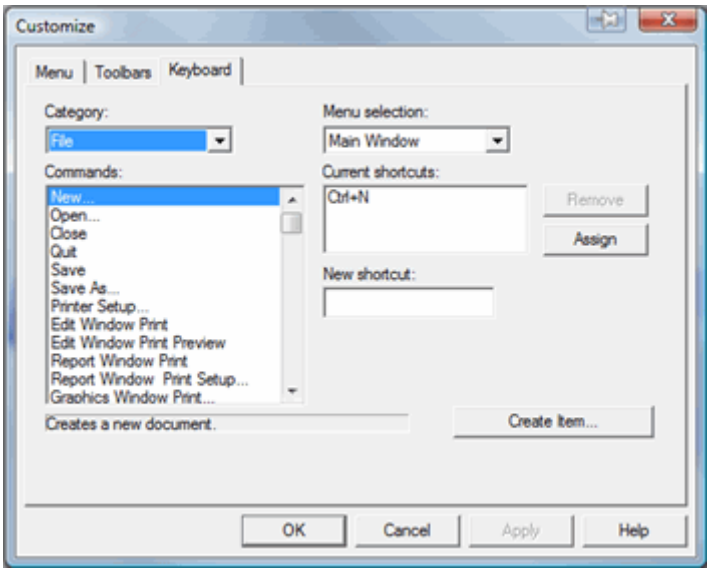
カスタム ツール バーの削除

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**ツールバー**タブを選択することにより、**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスできます。
2. **ツール バー定義** リストからツールバーを選択します。
3. **削除** ボタンをクリックして下さい。
4. 変更を適用するには [**適用**] をクリックします。

ショートカット キーのカスタマイズ

メニュー項目にショートカット キーと PC-DMIS コマンドをカスタマイズするには：

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ**メニュー オプションを選択して、**カスタマイズ**ダイアログ ボックスにアクセスします。
2. **キーボード** タブを選択して下さい。



カスタマイズ ダイアログボックス - キーボードタブ

このタブを用いて、PC-DMIS 内のにコマンド呼び出し、及び、カスタマムメニュー用とツール バー項目用の新ショートカットキー追加に使われている、ショートカットキーを変更することができます。

コマンドにショートカットキーを追加

1. **ビュー** |**ツールバー** |**カスタマイズ** メニュー オプションを選択して**キーボード**タブを選択することにより、**カスタマイズ** ダイアログ ボックスにアクセスできます。
2. **カテゴリ** と**メニュー選択**リストを使用して変更したいコマンドを選択します。一旦**コマンド**リストでコマンドを選択すると、現在のショートカットキーがコマンドに割り当てられる場合、**現在のショートカット**ボックスに表示されます。
3. 新規のショートカットキーを割り当てたいコマンドを、ハイライトで表示して下さい。
4. **新しいショートカット** ボックスにクリックします。

5. コマンドに割り当てるキーを入力します。押されたキーはそれらを入力したように示します。
6. **割り当て** ボタンをクリックして、新しいショートカットキーが他のショートカットキーが現在のコマンドに割り当てることで**現在のショートカット**ボックスに表示します。
7. **適用**をクリックして変更を確定します。

他のタブと同様に、**作成** ボタンを使用して最初にコマンドを作成し、それをカスタムプログラムに連結させることもできます。次に、**メニュー選択**リストから**ユーザ定義**をクリックしてそのコマンドを選択できます。すべてのユーザ定義コマンドは**コマンド**一覧に表示されます。

コマンドからショートカットキーを除去

1. **ビュー |ツールバー |カスタマイズ** メニューオプションを選択して**キーボード**タブを選択することにより、**カスタマイズ**ダイアログボックスにアクセスできます。
2. **カテゴリ**および**メニュー選択**リストを使用して変更したいコマンドを選択します。一旦**コマンド**リストでコマンドを選択すると、現在のショートカットキーがそのコマンドに割り当てられている場合、**現在のショートカット**ボックスに表示されます。
3. ショートカットキーを削除したい命令を選択します。
4. ショートカットを選択して除去します。
5. **除去する** ボタンをクリックして下さい。
6. **適用**をクリックして変更を確定します。

ユーザー インターフェース要素のドッキングとアンドッキング

一部のユーザー インターフェース要素（例えば、ツール バーやダイアログ ボックス）は、その項目を他の項目の上にドラッグ/ドロップすれば、編集ウィンドウやツール バー上でドッキングすることができます。ドッキングを望まない場合には、Ctrl キーを押下しながらマウスボタンをリリースして下さい。それから、ツールバーまたはダイアログボックスはその代わりにドックできる背景の上で空中停止します。

いくつかの項目には編集ウィンドウなど、その項目をドッキングまたはドッキング解除できる右クリックメニュー項目 (**ドッキング表示)**があります。右クリックメニュー項目が選択できない場合、開いているダイアログボックスを閉じてから再度試してください。

ウィンドウをカスケード表示 (**ウィンドウ|カスケード表示**) あるいはタイル表示 (**ウィンドウ|水平にタイル表示**または**ウィンドウ|垂直にタイル表示**) し、ウィンドウのタイトルバーをクリックしてドラッグし 1 つのタイトルバーを別のタイトルバーの上に置かなければならないことがあります。